

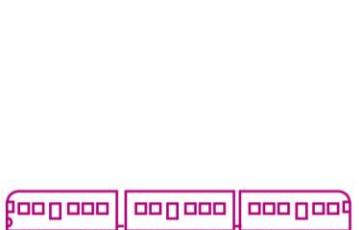
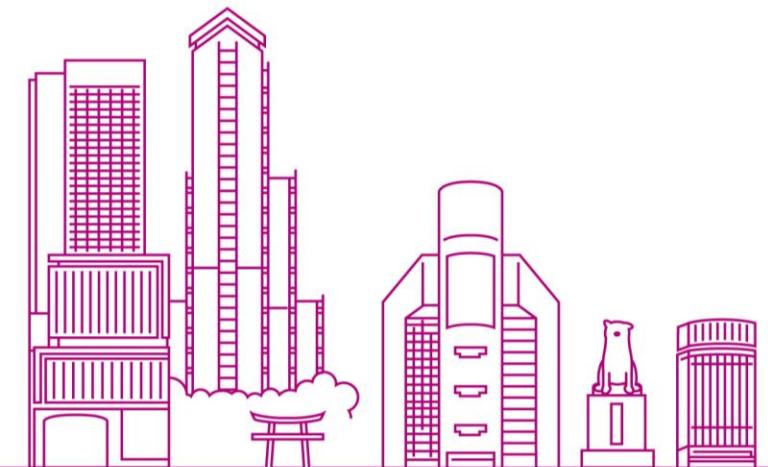


國學院大學

飛騨高山学会2025

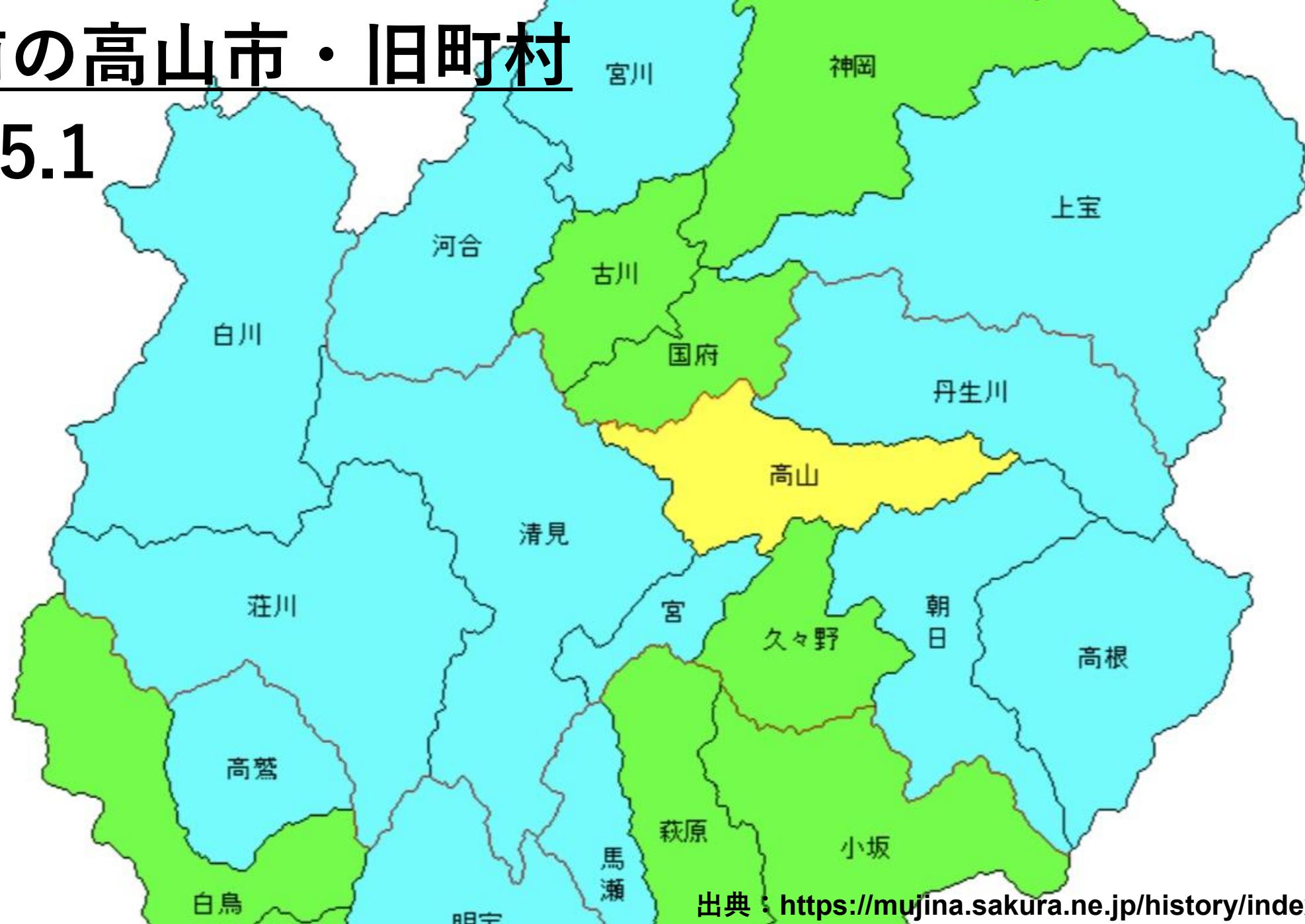
# 高山市支所地域における 滞在型観光の可能性

2025年11月29日  
國學院大學観光まちづくり学部  
米田誠司



# 合併前の高山市・旧町村

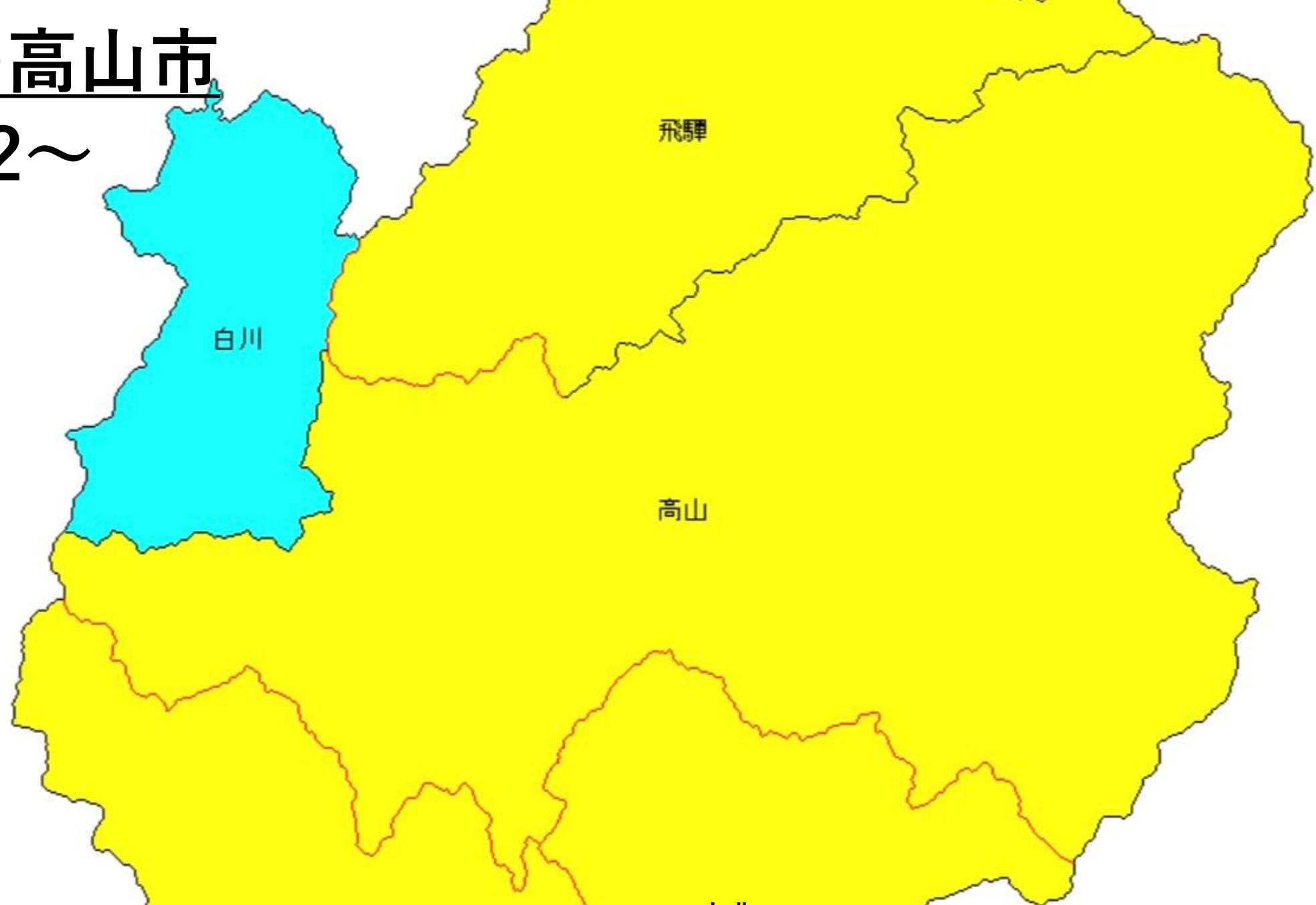
~2005.1



出典：<https://mujina.sakura.ne.jp/history/index.html> 2

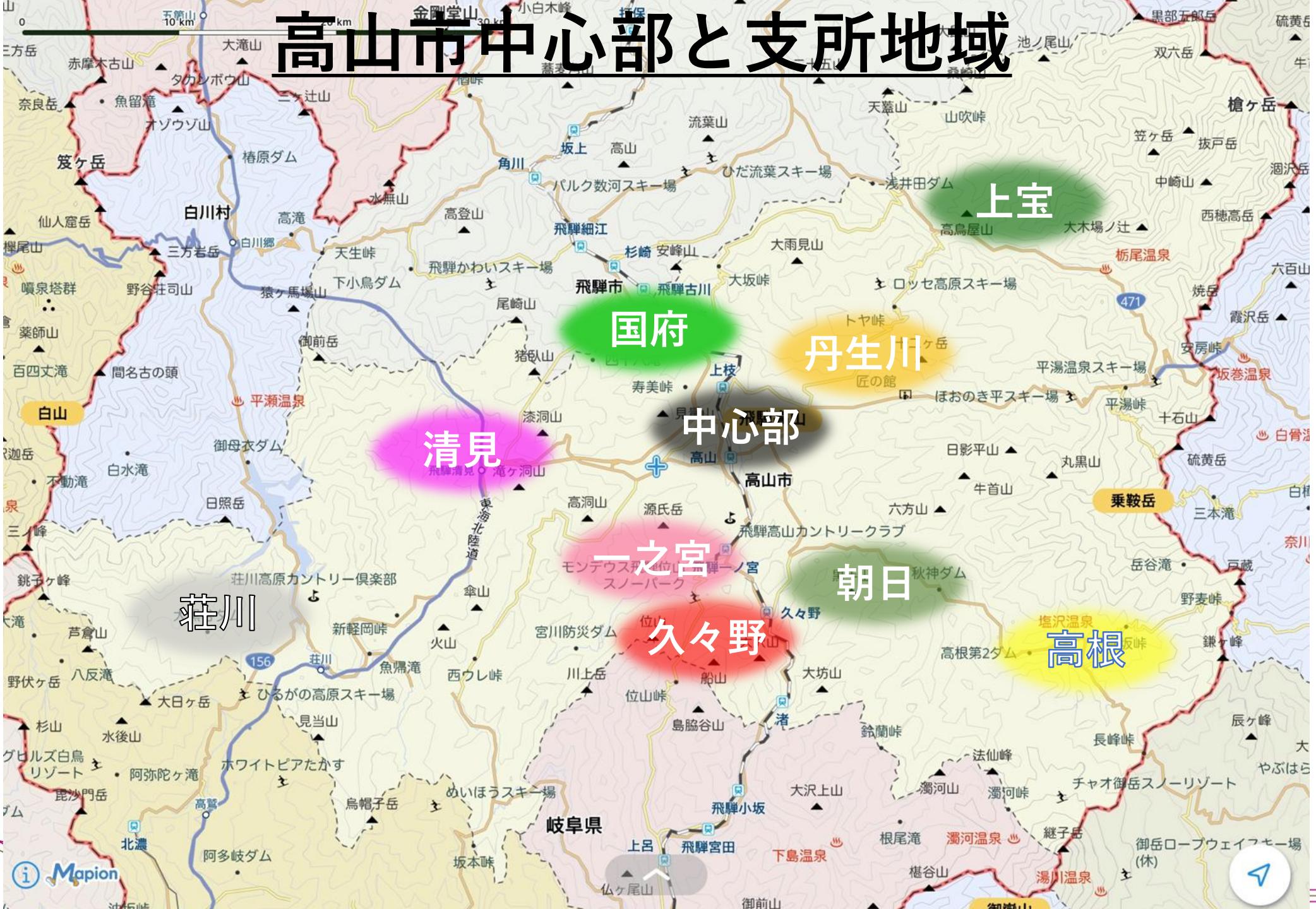
# 現在の高山市

2005.2～

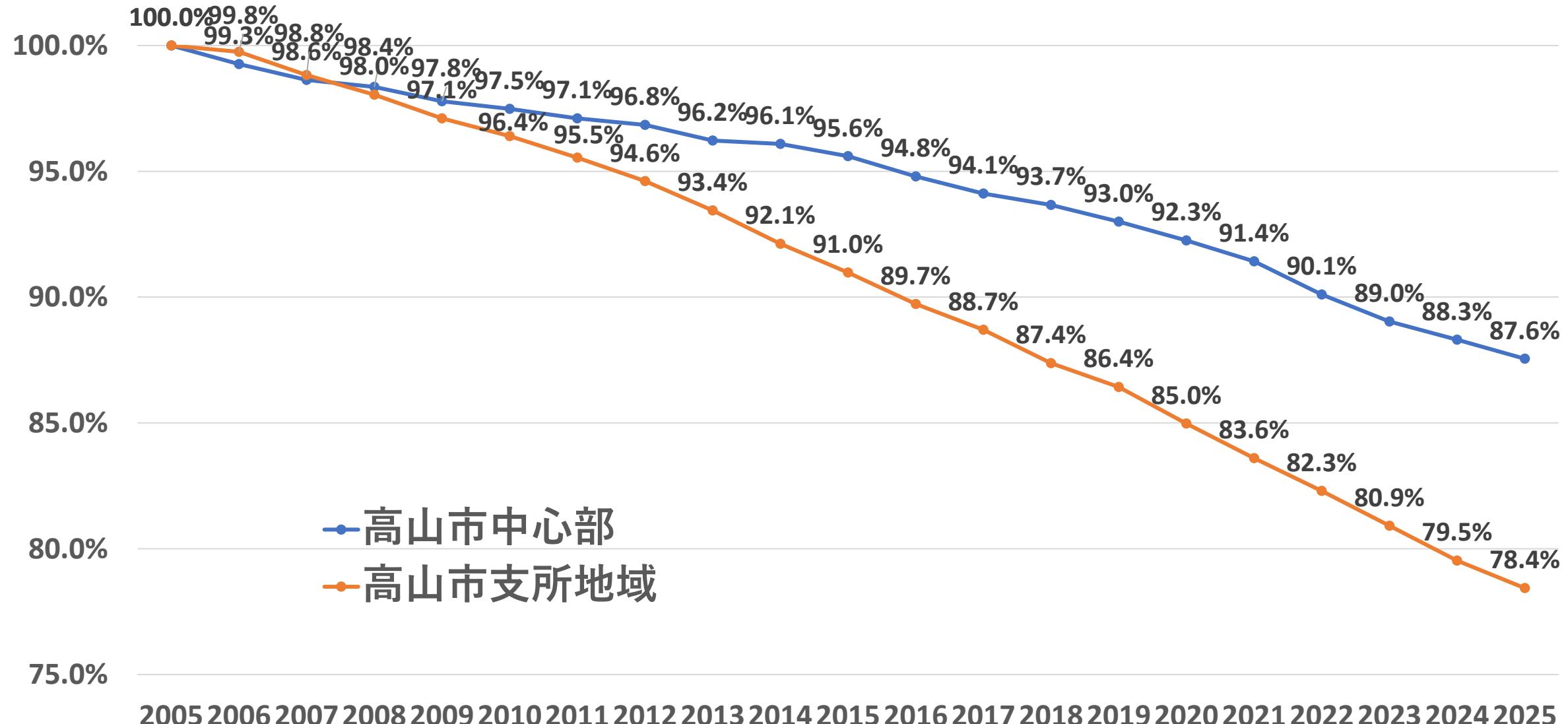


出典：<https://mujina.sakura.ne.jp/history/index.html> 3

# 高山市中心部と支所地域



# 高山市の人団推移



出典：高山市役所ホームページ

# 支所地域の成り立ちと地域資源

- 支所地域は旧高山市と街道や河川で繋がる中山間地域
- 中心部と異なる地域資源を有し繁栄してきた
- 現在過疎化や少子高齢化に直面
- 支所地域の豊かな資源を活かした滞在型観光に可能性あり

水無神社



宮の大力ーブ



道の駅飛騨街道なぎさ



# 高山市観光客数の推移

- 2020年以降、コロナ禍で大きく減少
- 2021年を底にその後順調に回復傾向
- 中でも外国人比率は17.4%まで高まる
- 他の地方都市と異なり外国人国籍が多様

年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
観光入込客数	4,733,000	2,301,000	1,948,000	3,086,000	4,072,000	4,422,000
うち外国人	612,204	108,720	2,993	40,493	452,500	769,743
外国人比率	12.9%	4.7%	0.2%	1.3%	11.1%	17.4%

出典：高山市令和元～6年観光統計

- 世界中の観光地でオーバーツーリズムが問題に
- 同時に観光スタイルの変化が発生

例) 混み合う観光地より落ち着いた日常の風景を楽しむ 7

# 高山・一之宮・久々野間JR濃飛バス時刻表

種別	JR	JR	JR特	JR	JR特	バス	バス	JR	バス	バス	JR	バス	バス	JR	バス	バス	JR	バス	バス	JR	バス	JR	JR	JR¥	バス¥
高山	0523	0622	0645	0714	0800	0805	0905	1024	1105	1205	1245	1305	1405	1453	1505	1605	1639	1705	1805	1853	1905	1946	2150	0円	0円
一之宮	0531	0629	↓	0721	↓	0820	0920	1031	1120	1220	1252	1320	1420	1501	1520	1620	1646	1720	1820	1901	1920	1953	2157	210円	250円
久々野	0538	0636	0657	0729	0811	0830	0930	1039	1130	1230	1314	1330	1430	1514	1530	1630	1655	1730	1830	1909	1930	2001	2205	240円	380円
渚	0546	0644	↓	0737	↓	0839	0939	1054	1139	1239	1322	1339	1439	1522	1539	1639	1709	1739	1839	1917	1939	2009	2213	420円	490円
下呂	0621	0720	0730	0814	0844	0928	1029	1128	1230	1328	1357	1429	1528	1601	1628	1729	1745	1829	1929	1953	2028	2048	2248	990円	1,060円
備考						土日 祝休											土日 祝休			土日 祝休					

出典：JR高山本線・濃飛バス下呂線時刻表

- JR高山本線と濃飛バス下呂線のダイヤを総合化：23.5往復
- 高山市中心部から一之宮・久々野地域に十分誘客可能な本数
- 公共交通機関 + のらマイカー + 魅力的な地域資源 ⇒ 滞在型観光
- 自家用車・レンタカーが観光の主流であるが、インバウンド観光客や酒類も楽しむ豊かな食の場面では公共交通機関が有利

# “モニターツアー”の様子

- (バス) 高山駅前16:05⇒久々野支所16:31 ワイン講座 + 夕食
- (JR) 久々野駅19:29⇒高山駅19:44



- (感想) 自然豊かな地域で、ワイン講座と繊細な寿司を堪能  
※他地域でも実現可能、新たな夕食難民対策として

# 地域資源から観光・交流資源への5つのステップ

- 見つけ方：地域に当たり前にある日本人の暮らしのものを再評価する。先入観に囚われずに、感性、感度を豊かに。
- 磨き方：そのものが持っている本質を損なわないように、光っている面を美しく磨き出し、楽しい価値観も大切に。
- 見え方：観光地よりも日本人そのものに興味があるはず、日本人の暮らししぶりや資源がどのように見えるか考える。
- 見せ方：選んだターゲットに何を伝え、どのように見せるか、メッセージ性も重要であり、どう表現するか工夫を。
- 見立て方：「物を本来のあるべき姿ではなく別の物として見る」（千利休）→暮らしのものごとの再評価。

出典：筆者作成 10

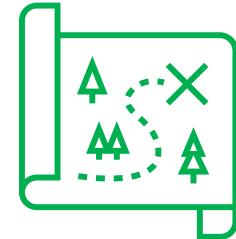
# 地域での滞在日数による分類

- 1日～3日：「観光」  
⇒ おもてなし、非日常の演出、おごちそう
- 1週～3週：「滞在」  
⇒ 異日常、体験・活動、地域の日常食・自炊
- 1月～3月：「短期居住」「ライフスタイル・マイグレーション」「二地域居住」「アメニティ・マイグレーション」  
⇒ 複数地域での生活と仕事、ライフスタイルの転換
- 1年～：「移住」、「定住」  
⇒ コミュニティとの関わり、仲間との実践

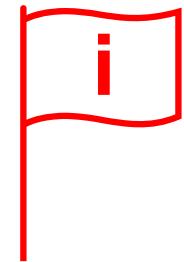
出典：筆者作成 11

# 地域でゲストを迎えるための 3つの重要な取り組み“MIG”

- 豊かな資源があり、訪問のきっかけとなる出来事や人があれば、観光地でなくとも十分に誘客可能
- 頭文字MIGの3つの取り組みが重要となる
- “M”マップ：地域内外のメンバーで丁寧に調査しまち歩きして、地域資源マップを作成
- “I”インフォメーション：地域の飲食店や商店が交代でiマークの旗を掲げ、マップを配布し案内する
- “G”ガイド：自分の言葉で自分の地域をフレンドリーに案内できるガイドを養成



“M”マップ



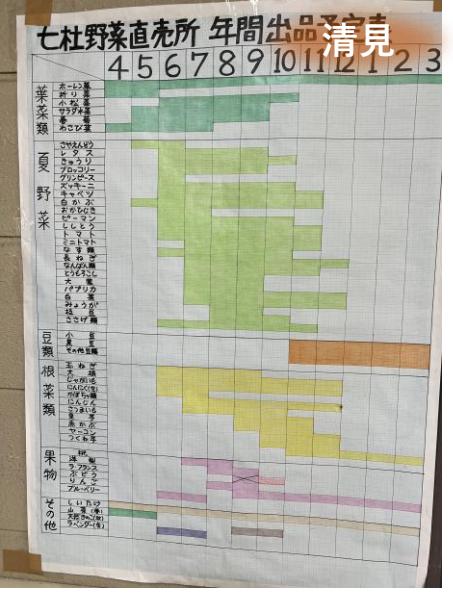
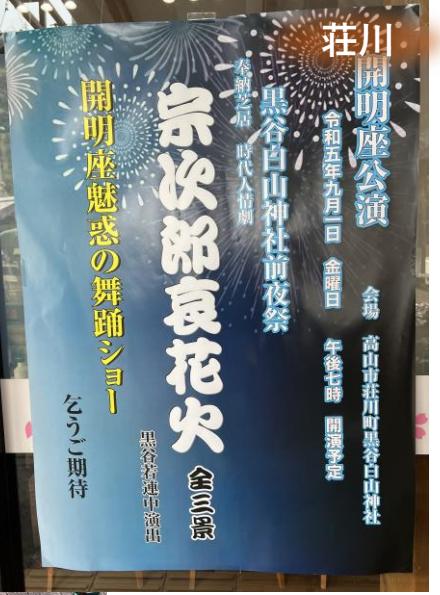
“I”インフォメーション



“G”ガイド

# 日本最多数を誇る高山市の道の駅と主な直売所





# 道の駅の再拠点化と現地調査

- 道の駅：滞在型観光では地域の拠点として機能
- 高山市支所地域：旧町村単位でユニークな道の駅等が存在
- 現在機能：情報発信機能、地元產品販売機能
- 将来機能：支所地域間連携機能、南高山等広域エリア誘客機能  
    中心部と支所地域の物流機能、滞在型施設の窓口機能
- 道の駅の再拠点化：大きな可能性を秘めている
  
- 支所地域現地調査：店舗、産業拠点、  
    空き家、未利用公共施設  
⇒日帰り利用施設、滞在型施設、民泊等  
⇒各支所地域に新たに誘致したい業種、業態



道の駅ひだ朝日村

# 体験メニューの展開

- 体験メニュー：滞在型観光を実施する際、誘客の要となり地域資源を体感できるもの  
例）料理体験、同行ツアー、伝統文化体験等
- 住民による展開：世界中の地域で地域資源を活用し地域住民が数多く展開している
- 実施主体：職業、年齢等を問わず、誰でも実施可能
- スモールビジネス：若年層にとって、支所地域での生活基盤となり得る  
⇒移住・定住の基盤形成



郷土料理づくり体験  
(國學院大學にて)

# インバウンド観光客から情報を

- 現在訪れているインバウンド観光客に詳細にインタビューを実施したい  
⇒どうして高山に行こうと思ったのか  
何を魅力と感じたのか  
実際に高山で体験したこと  
支所地域で体験したいこと等
- 回答には滞在型観光のヒントが眠っている
- 英語のQRコードを中心部の交通拠点や宿泊施設各所に据え置き  
⇒支所地域の情報提供、体験メニュー紹介  
簡易なアンケート等



四国で実施したQRコード  
据え置き型アンケート

# 発表のまとめ

- 支所地域は、条件不利な地域ではない
- 支所地域は、潜在力溢れる地域である
- 住民の方々や独自のライフスタイル⇒個性的な地域資源
- 魅力的な支所地域アピール  
→市總体としての顧客満足度向上へ



もっと日本を。もっと世界へ。



Copyright (c) Kokugakuin University. All Rights Reserved.

渋谷キャンパス

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

たまプラーザキャンパス

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1